

わ

が

街

わ

が

故

郷

日本ピローブロック株式会社 東京支店と港区

1. 会社紹介

社 名 日本ピローブロック株式会社
東京支店
住 所 東京都港区南麻布3丁目19番19号
連絡先 03-3442-8341（代表）



東京支店

昭和25年、当社はわが国で初めてピローブロック（転がり軸受ユニット）の生産に着手し、以来世界産業の成長を支えるピローブロックの専門トップメーカーとして歩み続けております。東京支店は昭和44年に旧製造会社から販売会社を分離独立した際に、現在の港区南麻布に販売会社の本社として設立され、平成16年の合併により日本ピローブロック(株)となりましたが、営業本部の拠点として直接客先と接する現場として当社の品質方針の「妥協を一切許さない 顧客満足度の追求」に鋭意努力をしているところです。

2. わが街 <港区>

港区（みなとく）は、東京都の特別区のひとつ。人口183,000人（1割は外国人）の東京23区の中央やや南寄りに位置しています。白金・麻布などの住宅街を抱えるほか、赤坂・六本木・青山などの商業エリア、新橋・浜松町などのビジネスサイド、お台場・芝浦・港南・海岸などの埋立地も持ち、非常に経済活動が活発です。港区内に本社を置く大企業は多く、多数の国の大使館（アメリカ・メキシコ・ペリウ・他70カ国）も港区に存在します。汐留や品川駅東側エリアなど再開発も活発に行われており、今後も高輪～三田のJR線敷地で再開発が予定されています。

高輪地区のご紹介



赤穂浪士で有名な泉岳寺（せんがくじ）、三田の寺町など、多くの名所・旧跡が点在する一方、目黒通りや外苑西通り沿いにはファッションビルやレストランなどが建ち並び、さまざまな人びとが行き交う魅力あふれる地域です。

また、武蔵野の貴重な自然を残す自然教育園

や庭園美術館などもあり、緑豊かな地域としても親しまれています。

泉岳寺は、東京都港区高輪にある曹洞宗の寺院で江戸三箇寺の1つ。慶長17年（1612年）に徳川家康が外桜田に門庵宗関を招いて創建するも寛永の大火で焼失し、現在の地で再建され、浅野内匠頭と赤穂浪士が葬られていることで有名であり、現在も多くの参拝客が訪れます。毎年12月13日、12月14日には義士祭が催されます。



泉岳寺

義士の討ち入り後、当時の住職が義士の所持品を売り払って収益を得たことに世間の批判が集まり、あわててこれらの品を買い戻しに走ったことがあるとか…。

門前には4～5軒のみやげ物店があり、塩饅頭や討ち入り太鼓、最近では四十七士のフィギアなどを店先に並べ、甘酒を飲みながらゆったりとした時間が味わえます。普段でもお線香の煙が絶えないですが、義士祭にはお線香の煙が遠くからでも見えるほど参拝客で賑わいます。

麻布地区のご紹介



麻布は高台や低地など起伏に富み、坂の多い地域です。昔の大名屋敷の面影を残す有栖川宮

公園などが残されています。かつては寺町や武家屋敷地として閑静な地域で、志賀直哉、永井荷風旧居跡など文学の香りを今に残している地域です。

起伏に富んだ複雑な地形ゆえに坂道が多く、一本松坂、暗闇坂、けやき坂、三年坂、仙台坂、狸坂、鳥居坂、南部坂、北条坂など名前が付けられています。

近年、多くの観光客で賑わう麻布十番ですが、その名の由来は古川の改修工事の際に、十番目の工区であったためといわれています。

童謡『赤い靴』（作詞：野口雨情、作曲：本居長世）のモデルとなった岩崎きみが亡くなった孤児院が十番稲荷付近にあったことから「きみちゃん像」が建てられています。



「きみちゃん」像

「およげ！たいやき君」のモデルとなったことでも有名なたいやき屋。名物おじさんが呼び込みをしています。明治42年（1909年）創業のこの店は、日本で初めてたいやきを考案した老舗です。土間に扇風機が回っている中でカキ



麻布十番「浪花家絵本店」

水や焼きそばを食す、懐かしい雰囲気は人気がありましたが、老朽化のために現在はビルへ建替え中です。

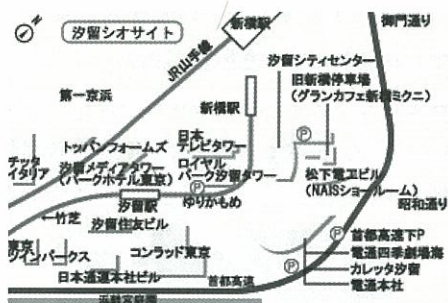
芝地区のご紹介



港区の北東に位置し、北は千代田区・中央区に、東は東京湾に接しています。

芝公園や旧芝離宮恩賜庭園の豊かな緑は、地元の人や通勤者たちに親しまれています。新橋、汐留といった繁華街や、増上寺、東京タワーなどの名所も多く、変化に富んだ町並みが楽しめます。

JR新橋駅すぐ近くの「旧国鉄汐留貨物駅跡地」を利用した都内最大規模の再開発都市『汐留シオサイト』。日本テレビ本社ビルをはじめ、レストラン、ショップ、シティホテルなどの高層ビル13棟やイタリアをイメージした街などが建ち並び、各施設が地下通路とデッキでつながる、快適で便利な新しい街です。



汐留シオサイトMAP

汐留にある徳川将軍家ゆかりの庭園。江戸時代に発達した大名庭園を代表する貴重な文化財であり、都会のオアシスとして都民および観光

客の散策スポットとして親しまれており、水上バスが発着するなどアクセス的にも便利です。



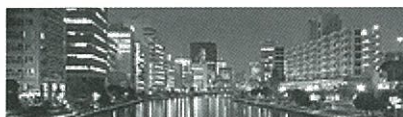
浜離宮恩賜庭園

赤坂地区のご紹介



東西に青山通り（国道246号）が走り、東に赤坂、西に青山と世界的なブランド名となっています。歴史と伝統ある街から、新しい時代21世紀を融合する街へと日々変貌しています。

芝浦港南地区のご紹介



芝浦、海岸、港南そして台場の各地域で構成される東京湾に開かれた街です。地域内を縦横に流れる運河、港を行き交う汽船や観光船、レインボーブリッジなど観光資源にも恵まれています。大規模住宅の建設などにより、今なお発展を続けています。

毎年8月の第二土曜日、各地の花火大会を締めくくべく「東京湾大華火大会」が晴海埠頭で行われます。晴海主会場の海岸と海上の2ヶ

所から約12,000発もの趣向の違う花火が打ちあがります。レインボーブリッジやお台場をバックに打ちあがる花火はとてもロマンチックです。



東京湾大華火大会

この大会の最大の魅力は、何と言っても素晴らしい夜景をバックに花火を見られることで、都心で唯一あがる尺5寸玉に何十万人という観客が魅了されます。



周辺マップ

六本木ヒルズ(ろっぽんぎヒルズ、Roppongi Hills)とは、森ビルが17年の歳月を掛けて行った六本木六丁目再開発計画の一環で建築された、超高層ビル六本木ヒルズ森タワーを中心としたビル群です。



六本木ヒルズ

2003年4月25日にオープンした東京の新名所は“文化都心”をコンセプトに、オフィス・住宅・ショップ&レストラン・展望台・美術館・ホテル・シネマコンプレックス・放送センターなど「住む、働く、遊ぶ、憩う、学ぶ、創る」といった多様な機能を併設する複合施設です。

その昔、ここ麻布日ヶ窪(現在の六本木六丁目)には江戸時代に毛利家(長州藩)の屋敷がおかれ、長州藩出身の乃木希典もこの地で生まれています。1952年にはニッカウキスキー東京工場が建てられ、ニッカウキスキーの後に1977年〜再開発までテレビ朝日本社がありました。

3. あとがき

「温故知新」「一期一会」そんな四文字熟語が似合う街

ヒルズ族...シロガネーゼetc. 時代の表紙を飾る街...〈港区〉

日本ピローブロック(株)東京支店は、昭和33年東京タワーの誕生の年に設立されました。

その港区の象徴(心の故郷)東京タワーは、第二タワーの建設が決定し、数年後には新しいスタートをします。

私たちもまた文化と伝統を継承し、この街と次代へ前進あるのみ…。

(日本ピローブロック(株)東京支店 森 輝子)